

公表

事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名	社会福祉法人玄洋会 福津子ども発達センター・さくら館
------	----------------------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		パーティションで部屋を仕切ったり、広く使用したり、活動や人数によって工夫をしている。長期休みは放課後等デイサービスと利用時間帯が重なる為、児発を短縮時間にするなどの工夫をしている。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		配置人数より多めに人員配置し、不測の事態にも対応できるようにしている。子どもの状態や家族支援が必要な場合にもプラス要員を配置することもある。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		建物の構造上、使いづらい部分もあるが、その都度、視覚的にもわかりやすく且つ使いやすいよう改善をしている。ヒヤリハット報告などを有効活用し、不適切な環境は可能な限り迅速に対応をするようにしている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		日々の清掃と年2回の定期的な大掃除等を実施している。また、活動の合間などに換気や消毒等実施している。活動や人数によって空間の使い方を意識して机や玩具などを配置している。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		それぞれの建物には、子どもの状態や活動に応じて、適切な部屋が使用できるようになっている。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		事業全体における業務計画などは施設長と管理者が中心となり作成し、それを基に全職員が業務を行っている。定期的に業務を振り返る機会を設け、次年度の計画に反映させている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		保護者向け評価表の内容を全職員で共有している。さらに、個人面談や行事アンケートなどで保護者からの意見を知る機会を設け、次の業務へと繋げている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		定期的な業務の振り返りや研修後のアンケート等を実施している。すぐに改善できる業務内容と次年度に向けての業務内容に分けて順次改善している。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		第三者による外部評価を行っていないが、必要に応じて検討してく。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		業務分担による担当者の研修参加と希望に応じての受講参加ができるよう業務調整をしている。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		2月下旬にはHP上での公表を予定している。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		面談や電話相談などで保護者と子どもの状態を共有してアセスメントを行っている。また、新規利用時と新年度には保護者が感じている子どもの目標を聞き取り、計画に反映させている。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		直接支援に関わる職員と目標会議を行い、現状や課題となる内容、アプローチ方法などを検討し、計画やモニタリングの作成を実施している。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		支援目標が確定後は全職員に周知している。また、個々の支援目標が即座に確認及び評価できるように子どもそれぞれの個別記録用紙などを工夫している。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		標準化されたツールを用いて、アセスメントを実施しており、必要に応じてツールの見直しや修正を行っている。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		本人支援に加え、保護者やきょうだいなどを含めた家族支援や保育所等との連携を含めた地域支援、小学校就学に向けた移行支援などを視野に入れて計画を作成している。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		各クラス担当の職員が助言者である経験豊富な職員と話し合い、活動内容や支援方法を構成している。	

児 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		各クラスの担当者が子どもそれぞれの発達段階や課題を評価し、プログラムの見直しを行なっている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		就学前の準備や子どもの発達での必要性や保護者の希望がある際には個別活動を取り入れるなどして、適切な支援の提供をしている。また、支援計画の作成と保護者への説明を行なっている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		毎回の療育前に対応職員と事前の打ち合わせと配慮事項等を確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		毎回の療育後に対応職員全員で振り返りを行い、ケースの特記事項及び改善点等を共有している。また、それを児発管に報告し、全職員への周知が必須である内容は朝礼等で報告し共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		療育終了後、子ども一人ひとりの記録を記入している。それを基に対応職員で振り返りを行い、次回の対応や支援内容を検討、確認している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>		半年に1度のモニタリング会議を実施し、目標の達成度や変更点を検討し、共有している。また、児発管が保護者への説明と確認を行なっている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>		クラス担当の職員または児発管等、子どもの状況を理解している職員が出席している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>		毎年、児童の健康診断の実施や法人嘱託医による相談や研修会を計画的に行なっている。また、地域での連携会議や基幹センター、福祉課及び学校教育課などの情報交換や支援状況を共有している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>		ほぼ全員が併行通園であるため、園訪問や会議を通じて支援内容を共有している。また、保護者や保育所等から依頼があった際には園訪問による支援と情報共有を行なっている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>		保護者の意向と同意を確認した上で、就学前に小学校への引き継ぎを行なっている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。	<input type="radio"/>		連携会議などでの情報交換や他機関との交流の場に参画している。 研修会や学習会を計画していく予定である。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	<input type="radio"/>		法人内の専門分野の職員からの研修や助言は円滑に実施できている。また、外部研修等も可能な限り勤務調整を行い積極的な参加を行なっている。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>		リモートでの会議が可能となることで、参加しやすくなっている。また、会議の案内が合った際にはできるだけ参加できるよう勤務調整をしている。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>		ほぼ全員が併行通園のため、主たる在籍園は地域の幼稚園や保育園となっている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		親子通園では場面を一緒に共有する中で、保護者と振り返る時間を設け、単独通園で保護者と対面が可能であればその日の引き継ぎ、事業所送迎で対面がない場合には連絡ノートなどを活用している。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>		事業所主催の研修の実施はない。 保護者向けの外部研修等がある際には案内をしている。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>		主に契約時に説明し、変更がある際にはその都度説明を行なっている。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>		保護者からの聞き取りと子どもの発達状況と課題を共有した上で、望ましい計画を作成している。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>		事前にアセスメントや保護者の主訴を聞き取り計画に反映している。その内容を子どもの現状を確認しながら、計画内容を説明し、同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		随時、相談を受け付けていることは周知した上で、計画やモニタリング時期での相談対応、更に個別面談の時期を設けている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>		親子通園では保護者同士が情報交換や交流する機会を設けている。年に1度は放課後等デイサービスを利用している児童の保護者との交流機会を設けている。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>		申し入れがあった時点で対応可能な場合にはすぐに、または、直近での日程調整をして対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>		毎月の活動や給食内容の予定を配布している。また、行事等は別途案内を配布している。HP上ではブログにて活動内容の発信を行なっている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		契約時に個人情報の取り扱いを説明した上で、保護者から同意書を頂いている。また、写真などの掲示においても詳細を説明し、事前確認を行なっている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>		連絡ノートや配布物はよりわかりやすくするために、メモや電話等で説明している。また、保護者の支援者（相談員）等と連携している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	<input type="radio"/>			防犯や安全管理の観点から行事等への招待は困難なため実施していない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>		契約時に各項目について簡単な説明とマニュアルの存在を周知している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>		計画を作成し訓練等を行なっている。また、その都度見直しを実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>		契約時及び内容が変更した際、また、日々の引き継ぎで子ども一人ひとりの状態を保護者に確認し、対応職員で共有している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>		食物アレルギーに限らず、アレルギーの有無を確認し、アレルギーがある際には保護者から症状や対処法を聞き取り、医師等からの情報提供を基に対応している。エビベンなどを保護者から預かる場合もある。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>		各災害を想定した避難訓練は計画に沿って実施している。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>		契約時に計画やその取り組みがあることを簡単に説明した上で、緊急連絡先や子どもの服薬などの情報を提供して頂き、その情報を毎年更新している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		必ず毎回の療育の振り返りでヒヤリハットの視点を養えるように報告し合い、防止や対策方法を検討することを習慣としている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		外部研修や事業所内研修に必ず参加するようにしている。また、常に複数の職員で対応し、適切な対応ができていないか評価している。職員の負担やストレスチェックを実施している。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	<input type="radio"/>		個別支援計画作成時に明記し、事前に保護者への説明と了承を得るようにしている。更に、保護者が同席している場合に限らず、その都度保護者への事実や状況の説明を行なっている。		